

各 位

一般社団法人日本環境アセスメント協会
セミナー委員会委員長 湯浅 晃一

第90回 環境システムシンポジウム
～(一社)日本環境アセスメント協会 令和7年度第2回公開セミナー～

土木分野のライフサイクルにおけるCO₂（ホールライフカーボン）削減に向けて

「2050年カーボンニュートラル」の実現に向けて、土木・インフラ分野において脱炭素化に向けた取組が進められています。特に、建築分野における取組が先行していますが、今後は土木分野においても、土木構造物の設計から解体までの全段階で排出されるCO₂、すなわちホールライフカーボンの削減が求められます。

本シンポジウムでは、土木分野のライフサイクルにおけるCO₂（ホールライフカーボン）削減を目指し、最新の国の施策動向やホールライフカーボンの算定・評価手法、具体的な取り組みや課題、解決策を共有するとともに、さらなる導入拡大に向けた議論へと深めます。

記

- 主催 公益社団法人土木学会（担当：環境システム委員会）
- 共催 一般社団法人日本環境アセスメント協会（担当：セミナー委員会）
- 日時 令和8年1月16日（金） 13:30～16:30（※3時間程度）
- 会場 オンライン（Zoom ウェビナー）
- 参加費 無料
- 定員 500名
- 申込み 令和8年1月14日までに協会ホームページ内申込フォームにてお申込下さい。
- 申込みフォーム <https://jeas.org/openseminar01/>
なお、この公開セミナーはJEAS-CPD制度の認定プログラムです。
- プログラム（講演題目、発表者は予定です。都合により変更する場合がありますがご了承ください）

| | |
|-------------|--|
| 13:30～13:35 | 土木学会 環境システム委員会 |
| 13:35～14:00 | 建築物ライフサイクルカーボン削減に向けた法制度検討状況（仮） 慶應義塾大学 名誉教授 伊香賀俊治氏 |
| 14:00～14:20 | 令和8年度以降に始まる土木分野の建設カーボンニュートラルの社会実装（特に「GHG排出量算定の自動化」の実現方策の一案として、「物価調査方式原単位」と「情報連携キー（産業連関表コード7桁）」について） 国土交通省 国土技術政策総合研究所 社会資本マネジメント研究センター 建設経済・環境研究室 室長 富田興二氏 |

| | |
|-------------|---|
| 14:20～14:40 | <p>港湾分野における脱炭素化に向けた取組</p> <p>港湾空港技術研究所 構造研究領域 構造新技術グループ</p> <p>主任研究官 中村 堇氏</p> |
| 14:40～15:00 | <p>高速道路における脱炭素化に向けた取組み</p> <p>中日本高速道路株式会社 技術本部環境・技術企画部</p> <p>環境・技術企画 課長 櫻井健一郎氏</p> |
| 15:00～15:20 | <p>土木・インフラ分野における CO2 削減に向けた取組事例（仮）</p> <p>清水建設株式会社 土木技術本部 プロジェクト技術部 永尾謙太郎氏</p> |
| 15:20～15:25 | (休憩) |
| 15:25～16:25 | 総合討議 【ファシリテーター：北九州市立大学 教授 松本亨氏】 |
| 16:25～16:30 | 日本環境アセスメント協会 （セミナー委員会委員長 湯浅晃一） |

以上

お問合せ先：（一社）日本環境アセスメント協会事務局

TEL 03-3230-3583 、 FAX 03-3230-3876